

2026 6/9

No.2260

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



鎌倉市の材木座海岸で夜光虫が発生し、一帯を幻想的な雰囲気に包んだ。夜光虫は春から夏にかけて多く見られ、波などの刺激に反応して青白く発光する（5月26日撮影）



視点点描	3
「夏色」の空と青切符	
特集	4
「力こそ正義」新常态に キューバが試金石	
経済双眼鏡	8
ヘビー級の凡戦と冷たい融和	
平井久志×リアルワールド	9
日朝打開へ 愛知アジア大会を注目	
管理職はつらいよ！ 金魚すくいの法則	10
言葉をことばで考える 正しい言葉選びの第一歩	11
本郷和人 歴史の舞台をゆく 近江商人と深く結びついた町	12
かながわTODAY 5月の主な経済ニュース	14

事務局だより

◇2026年6月定例講演会
6月25日(木)午後1時50分ごろ～3時

メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：日本ファクトチェックセンター編集長 古田 大輔氏
演題：ファクトチェックとリテラシー ～偽情報に惑わされないために

※午後1時30分から同会場
で当会決算総会を開催予定

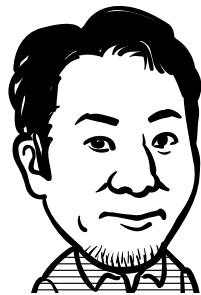
◇2026年7月定例講演会
7月9日(木)午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ(横浜市中区)

講師：BNPパリバ証券経済調査本部長 河野 龍太郎氏
演題：世界経済の死角、日本経済の死角

◇2026年8月定例講演会
8月20日(木)午後1時30分～3時
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：国際園芸博覧会協会事務次長 小池 政則氏

【お知らせ】2025年度決算総会は6月25日(木)午後1時30分から、メルヴェーユ(桜木町・県民共済プラザビル内)で開催予定です。総会後に6月定例講演会を開催します。

視点 点描



「夏色」の空と青切符

薫風を浴びて疾走する。市街地を抜けて、潮の香りがする海岸へ、新録がまぶしい丘陵へ、せせらぎが輝く川辺へ、ペダルをこいでいく。ギアを上げるたびに早送りになる風景。加速するたびに大きくなる風きり音。日常を離れて自然と一体化できる自転車のサドルは、初

夏を感じる特等席だろう。〈この長い長い下り坂を 君を自転車の後ろに乗せて プレーキいっぱい握りしめて ゆっくり、ゆっくり下つてく〉 横浜出身の人気デュオ「ゆず」が、デビュー曲「夏色」をリリースしたのは1998年6月3日。甘酸っぱ

い恋心がにじむ青春の二コマも、今なら「発アウト」になりかねない。自転車の交通違反に反則金を科す「青切符」制度が4月にスタートした。16歳以上が対象で、違反行為は113種類。導入から2カ月が過ぎたとはいえ、何は良くて何がダメなのか、戸惑うケースも少なくないはず。事故につながりやすい行為は直ちに摘発される。スマートフォン「ながら運転」は、反則金1万2千円。下がっている踏切への立ち入り（7千円）、ブレーキがない自転車の運転（5千円）も言い訳できない。

昨年在全国で起きた自転車事故は6万7470件で、約7割で安全を確認しないなどの法令違反があった。歩行者との事故は過去最多の3269件に上っている。安全な交通環境を整えるには、車や歩行者への注意喚起も不可欠だ。車道の違法駐車や「歩きスマホ」など、あらゆる危険を排除する視点が必要だろう。実効性を高めるには、周知の徹底と公正な取り締まりも求められる。交通ルールの順守と道路環境の改善があつてこそ、事故のない社会の実現につながる。通勤通学や買い物といった日常利用にとどまらず、健康ブームや環境意識の高まりでスポーツ用途、シェアリングサービスなど多様化する自転車。風を感じて走りながら出会う「青」は、海や空だけではない。（神奈川新聞社統合編集局次長・香川 直幹）